



ThingWorx SaaS サービス記述書

PTC の ThingWorx SaaS オファリングの使用には、[SaaS 基本契約](#)（以下「本契約」といいます）の諸条件のほか、以下の追加の諸条件が適用されます。以下に定義されていない大文字の用語は、本契約で定義されている意味を有します。ThingWorx SaaS オファリングには、ThingWorx SCP SaaS プラットフォームサービス及び ThingWorx SCO ソリューション SaaS プラットフォームサービスの 2 種類があります。

バージョンサポート

本サービスには、PTC が本サービスへの適用を選択決定したニューリリース及び更新リリースのインストールが含まれます。お客様は、ニューリリース／更新リリースとの互換性を確保するため、カスタマイズ及び／又は統合を更新する責任を負うものとします。

PTC は、プラットフォーム全体にわたってサポートされるソフトウェア・リリースをお客様に維持させる権利を有し、また、プラットフォームに対して更新をインストールし、一般的な保守を行う権利を有します。お客様が現在リリースされているバージョンのソフトウェアを使用していない場合、PTC は本サービスを終了するか又は PTC が提供する本サービスの各月について追加料金（月単位で年間契約額の 30%を上限とする）を課すことができるものとします。

データのエクспорт

本サービス終了日が了知された後、お客様は、(1) 本サービス終了日に先立って、お客様の新システムへのデータ入力をテストする目的でのエクспорт、(2) 本サービス終了日の最終エクспортという最大 2 回のデータエクспортを要求できます。お客様は、当該要求が実行できるように PTC と調整するものとします。データのエクспортには、現状のソフトウェアコンフィグレーションを別の環境に再展開する上で必要な情報が含まれます。各オファリングで使用できるファイルの形式については、以下のオファリング固有の項で規定します。

上で規定しているものを除き、データのエクспорт及びスナップショット（お客様が長期保管を必要としている場合など）は、標準の PTC オファリングの構成要素としては提供されません。ただし、お客様は、追加料金を支払うことにより、標準では提供されないデータのエクспортについて PTC と契約することができます。

PTC は、お客様のデータを最後の抽出時から約 30 日間保持します。この期間を過ぎたデータは破棄されます。この 30 日間の期間中は、アーカイブされたデータの複製 1 つをお客様からの要請に応じて提供できます。

データのエクспортには、サービスコンフィグレーションやデータなどの該当する項目が含まれます。以下の 2 つの形式でデータをエクспортできます。

- ThingWorx のエクспорт機能ですべてのエンティティをエクспортし、XML ファイル及び JSON ファイルで提供
- 各データベースの標準エクспорт形式に準拠してデータベースをエクспорт

また、ThingWorx のストレージリポジトリにあるファイルは ZIP 形式で提供されます。

バックアップ及び災害復旧

PTC は、事業継続及び災害復旧のベストプラクティスをサポートするため、包括的なデータバックアップ・ポリシーを維持しています。システムの完全バックアップは毎日行われ、地理的に冗長な（Geo 冗長）場所に保管されます。本番システムのバックアップは 30 日間維持されます。非本番用バックアップは 7 日間維持されます。

大規模なサービス停止が発生した場合、PTC は影響を受ける顧客と協力して、災害復旧プロトコルを実施すべきかどうかを判断します。必要な場合、本番システムの復旧時点目標 (RPO) は 24 時間、復旧時点目標 (RTO) は 5 日間とします。非本番用システムは、すべての本番用システムが完全に復旧した後、可能な限り迅速に復元されます。

セキュリティ及びデータプライバシー

本サービスのセキュリティプログラムに関する情報は、[PTC トラストセンター](#)に掲載されています。

本サービスの一部として収集されるデータに関する情報は、<https://www.ptc.com/en/documents/policies>にあります。

「インスタンス」の定義

「インスタンス」とは、アプリケーションサーバーが展開された環境をいいます。

Influx Database

InfluxDB は、ThingWorx SaaS Platform Service (SCP 又は SCO) のアドオンとして購入できる、フルマネージド型の時系列データベースです。ワークロードは、ThingWorx プラットフォームに入力されるすべてのデータについて、インスタンスごとの 1 秒あたりの Message 又は Write として定義されます。InfluxDB の容量を追加購入し、プロビジョニングすることで、ワークロードの増加に応じてより高速な 1 秒あたりの Message 又は Write をサポートすることができます。InfluxDB の各インスタンスには、見積書／製品スケジュールに記載された 1 秒あたりの Message 数及びストレージ容量が割り当てられます。追加の権利を購入することもできます。

「Message」は、プラットフォームへ送信されるデータ項目若しくはデータ点又は位置（例えば、位置値）に関連する離散的な値です。例えば、Message は温度であってもよいが、華氏 98 度という値の送信の後に華氏 90 度という値の送信を行うと、2 つの Message が送信されることになります。また、華氏 98 度という値の送信と、その温度値の位置の送信で、2 つの Message が送信されることになります。各 Message はカウントされます。

InfluxDB コンポーネントは、本注文書に記載された ThingWorx 品目とともにのみ使用することができます。お客様は、InfluxDB コンポーネントをスタンドアロンで使用してはならず、またエンドユーザーにも使用を許可してはならないものとします。

お客様は、個人を特定できる情報を InfluxDB コンポーネント及び InfluxDB サービスの設定にアップロード又は入力しないものとし、また、それを許可してはならないものとします。

ThingWorx SCP SaaS Platform Service

はじめに

このオファリングは、お客様による ThingWorx SCP SaaS Platform Service サブスクリプションの契約期間中、お客様のオファリングを接続すること及び IoT アプリケーションをビルドして実行することを目的として、ThingWorx SCP SaaS Platform Service にアクセス

し、使用するための、非独占的かつ譲渡不能であり限定的な権利及びライセンスをお客様に付与するものです。ThingWorx SCP SaaS Platform Service は、お客様のオペレーションを遠隔で管理する目的には使用できません。

ソリューションのスコープ

ThingWorx SCP SaaS Platform は、別途購入可能なオプションサービスが付属している標準サービスパッケージとして入手できます。

すべての ThingWorx SCP SaaS Service に、以下の事項が含まれます。

- ThingWorx SCP SaaS エディション (Premium、Professional、Enterprise) 又は Machine Builder Bundle
- 各エディションについて規定されている登録ユーザー及び Asset
- Kepware 又はサポートされているその他の Edge Agent テクノロジーへの接続機能
- PTC Hosted Global Access Server (GAS) ネットワークによる、対応デバイスでのリモートアクセス&コントロール (RAC) の利用
- 単一の専用の本番用のインスタンス
- 環境ごとに規定されるストレージ割り当て
-

オフリングに関する基本事項

ThingWorx SCP SaaS Platform には、Premium Edition、Professional Edition、Enterprise Edition、ThingWorx Machine Builder Bundle という複数の「エディション」があります。ThingWorx SCP SaaS Platform の各エディションには、ライセンスプロファイルで規定される所定の数の SCP 登録ユーザー、Asset、及び ThingWorx SCP SaaS Platform のエディション固有の機能が含まれます。ThingWorx SCP SaaS Platform は、お客様の物理的な施設又はお客様の指定するホスティングプロバイダーにインストールすることはできません。ThingWorx SCP SaaS Platform の各エディションには、「ThingWorx エージェント」又は「Edge Microservers」及びお客様のランタイムアプリケーションへの接続機能を追加するためにお客様が使用する ThingWorx SDK が含まれています。ThingWorx エージェント、Edge Microservers、及び ThingWorx SDK を使用して作成されるお客様のアプリケーションについては、数は無制限であり、コネクティッドオフリングを使用して分散させることができますが、ThingWorx オフリングとのみ使用できます。ThingWorx エージェント及び Edge Microservers はサービスのコンポーネントではなく、お客様が直接維持します。

- ThingWorx SCP SaaS Platform の本番用のインスタンスは、Asset や登録ユーザーなど、お客様固有の使用権に基づいてサイズが決定されます。システムはきわめてセキュアな運用モードをサポートし、PTC の SLA における確約事項に準拠するバックアップオプション及び復元オプションに対応するように設計されています。PTC は、本番用のインスタンスの適切なパフォーマンスを確保するため、パフォーマンス、セキュリティ、及びスケーラビリティに関する懸念事項がお客様の実装環境に存在しないかどうかを確認する権利を留保します。お客様の実装環境の使用率が、お客様のシステムのパフォーマンスに悪影響を及ぼすほどの過大な状況にある場合、追加料金が生じることがあります。
- ThingWorx GAS ネットワークノード (サーバー) の集合であり、サービス技術者が実行するリモート診断セッションのランデブーポイントとして機能します。リモートセッションは、遠隔にあるアセットから GAS ノードを経由して技術者の PC にルーティングされます。これらのサーバーとルーティングは、メインの IoT サーバーからのトラフィックをオフロードし、セッションの待ち時間を短縮し、データ主権要件への準拠を支援します。
- お客様は、遠隔 Asset のすべての設定及びメンテナンスに責任を負います。PTC は、エッジ上のいかなるデバイスにもサポートを提供しません。
- お客様は、接続されるすべてのアセットについて、少なくとも TLS 1.2 に相当する SSL セキュリティレベルで通信する状態を維持しなければなりません。
 - アセットが規定のレベルに達していない場合、資産をサービスに接続するには、書面による PTC の承諾を得る必要があります。

- PTC は、セキュリティレベルの最小要件を満たしていない通信を切断又はブロックする権利を留保します。
- PTC は、アセットが接続する可能性のある最小セキュリティ SSL/TLS レベルを上げる権利を留保します。
- サービスに含まれる以下の事項については、お客様が許容量を超えた場合、見積書／製品スケジュールで定義される超過料金をお支払いいただきます。
 - Assets
 - 登録ユーザー
 - データ／ストレージ

ThingWorx SCP SaaS Platform には、標準で以下の使用権が含まれます。

	Premium	Professional	Enterprise
Assets (同梱)	50	75	100
SCP 登録ユーザー (同梱)	5	5	5
SCP 参照専用ユーザー	同梱	同梱	同梱
ThingWorx Foundation	同梱	同梱	同梱
ThingWorx Analytics (1)	入手不能	8 コア同梱	16 コア同梱
ソフトウェアコンテンツ管理	入手不能	同梱なし	同梱
SCP Accelerator	同梱		
Technical Support	Gold+		

1. お客様は、同梱されている ThingWorx Analysis コアのコンピューティング容量を超過した場合、演算機能を提供する任意のインスタンスの実行コンポーネント用に、追加のコンピューティング容量を提供する追加コアの使用権を購入できます。

ThingWorx Machine Builder:

ThingWorx Machine Builder Service Bundle は、ThingWorx SCP SaaS Service、Vuforia Chalk SaaS、ThingWorx Kepware Edge for SaaS、及び、お客様のオフラインに接続し IoT アプリケーションの作成と実行に使用するためのその他のバンドル機能の使用権を付与するものです。以下に定める追加／異なる条件及び権利については、本 Vuforia SaaS サービス説明書の「Vuforia Chalk SaaS Offering」セクションを参照してください。

ThingWorx Machine Builder Bundle の標準の使用権：

	MBB ティア 1	MBB ティア 2	MBB ティア 3	MBB ティア 4
Assets with ThingWorx Kepware Edge - SCP Connectivity (1)	25	250	1000	2000
SCP 登録ユーザー (同梱)	5	5	5	5
SCP ビュー専用ユーザー (同梱)	同梱	同梱	同梱	同梱
ThingWorx Foundation	同梱	同梱	同梱	同梱
ThingWorx Analytics (2)	同梱なし	同梱なし	同梱なし	同梱なし
ソフトウェアコンテンツ管理	同梱なし	同梱なし	同梱なし	同梱なし
ThingWorx Kepware Edge For SaaS (指定コンピューターあたり最大 1,500 タグ)	25	250	1000	2000
Vuforia Chalk ユーザー (3)	5	5	5	5
Technical Support	Gold+			

1. (1) SCP/Machine Builder Bundle モデルに含まれる Kepware の権利は、ThingWorx SCP/MBB ソリューションでの使用に限定され、ThingWorx との接続のみを提供します。SCO ソリューション モデルに含まれる Kepware ソフトウェアを単体で使用することはできません。お客様は、他の用途のためにエンタプライズ Kepware 接続パッケージを購入することができます。
2. お客様が付属の ThingWorx Analytics コアの計算能力を超えた場合、お客様は、計算機能を提供するコンポーネントを実行しているインスタンスにおいて、追加の計算能力のために追加のコアライセンスを購入できます。
3. Vuforia Chalk SaaS オファリングは登録ユーザーを単位として使用権が付与されます。「登録ユーザー」とは、ログイン ID 及びパスワードを保有し、お客様の Chalk 管理者によって Chalk アプリケーションの使用を認められているユーザーをいいます。お客様の Chalk 管理者は、いかなる時点でも登録ユーザーの総数がその時点で有効なサブスクリプションの数を超えない限り、随時、新規の登録ユーザーを追加及び／又は交代できます。

追加のインスタンス – 本番用

追加の本番用のインスタンスは、別途購入できます。これらのインスタンスに追加の Asset 又は登録ユーザーは含まれていませんが、見積書／製品スケジュールで規定されているとおり標準の本番使用権が付与されます。お客様は、Asset 又は登録ユーザーを単一の本番インスタンス又は限定された本番インスタンスに割り当てることができます。追加の本番用のインスタンスのサイズは、当該のインスタンスに割り当てられるデバイス及びユーザーの数に基づいて決定されます。

追加のインスタンス – 非本番用

追加の非本番用（開発、品質保証及び統合）のインスタンスは、別途購入できます。これらのインスタンスについては、Asset 又は登録ユーザーの数に制限はありませんが、機能の開発及びテストをサポートするために設計されています。ロード及びパフォーマンステストは含まれていません。追加のパフォーマンスが必要な場合は、PTC の営業担当者にお問い合わせください。

追加のデータベース

お客様は、別途購入することで本番及び非本番のデータベースを利用できます。お客様は、テスト及び妥当性確認のための非本番環境を確保するには、それぞれ（本番環境と非本番環境）のデータベースを少なくとも 1 つ購入する必要があります。サイジング（CPU コアによって定義）とストレージは、見積書／製品スケジュールに規定されます。構成されたデータベースは、一般契約条件に規定された条件に基づくものとし、本番用の個別の SLA はありません。お客様の実装において、お客様のシステムのパフォーマンスに悪影響を与える異例の使用方法は、追加料金がかかる場合があります。

ThingWorx High Availability

ThingWorx High Availability は、互換性のある ThingWorx SCP SaaS の使用権へのアドオンとして使用できます。お客様の本番システムを、ThingWorx 9.0 以降のバージョンに実装されているアクティブ／アクティブ構成のクラスタを使用するように設定することが可能になります。見積書／製品スケジュールで別途規定のない限り、SLA はこの使用権によって変更されません。

ThingWorx Kepware Edge for SaaS

ThingWorx Kepware Edge for SaaS オファリングは、指定コンピューターごとにライセンスが必要であること、及び商品説明に付加される指定の数のタグにのみ使用されることを前提として販売されます（一般に、1 つのタグは 1 つのデータ項目に相当）。指定コンピューターオファリングは、インストール先の指定コンピューターでのみ運用することを目的とし

て使用許諾されます。ThingWorx Kepware Edge for SaaS のコンポーネント及び機能は、ThingWorx Machine Builder Service Bundle に含まれている ThingWorx SCP SaaS Platform Service に接続するためにのみ使用できます。

ライセンスプロファイル及び許容されるコンフィグレーション

ライセンスプロファイル

「SCP 登録ユーザー」(IoT)とは、許諾製品を使用してマッシュアップ、アプリケーション及び/又はダッシュボードを開発する権限をシステム管理者から付与された個人による使用のために、ThingWorx Platform に直接又は中間アプリケーションを経由したアクセスを可能にするためのログイン ID をいいます。この使用許諾基準は登録ユーザーの使用許諾基準の変形である。ユーザーは、個人を基準として数えるものとし、同時使用を基準としません。

「View-Only SCP Users」とは、許諾製品を使用し、ThingWorx Platform からアウトプットを消費するためだけに権限を付与されたユーザーをいいます。当該ユーザーは、マッシュアップ、アプリケーション若しくはダッシュボードを開発又は修正する権限を付与されず、また、開発又は修正してはなりません。View-Only SCP UserはログインIDを保持することができ、又は、他のシステム又は共有のログイン若しくはスクリーンからデータにアクセスする者(例: サービスデスクの従業員)もユーザーになり得えます。View-Only SCP Userは制限されず、ThingWorx SCP Platformに含まれます。

「Asset」(IoT) (製品自体又はその他の部分において「デバイス」、「モノ」又は「遠隔装置」と呼ばれる場合もある)とは、感知装置(センサー)、装置(デバイス)、機械、システム、ウェブサービスなどであって、資産(又は許諾製品内において「デバイス」又は「モノ」)としてモデル化(表現)及び/又は登録されるもの、又はソフトウェア内で別の資産として取り扱われる場合には、前述の一部として別に定義されるものを意味します。例えば、Assetは、プレスブレーキ、工業用乾燥機、別のコンピューターシステム、又は、それらの機械の中にある個々の部品がソフトウェア内で別の資産としてモデル化又は登録される場合がありますが、これらに限定されません。

Simple Narrow Band Asset (簡易型ナローバンド Asset) (NB)とは、業界標準の低出力ワイドエリアネットワーク(LPWAN)又は5Gネットワークで運用されるAssetクラスであり、ThingWorx からAssetへのリモートアクセス不能、Software Content Management (SCM)機能がない、ファイル転送機能がない、といった制限があります。さらに、このAssetのクラスには、未接続の資産も含まれます。このAssetのクラスには、オフラインで作成され、物理的または仮想的な資産を表すものの、その資産とは何ら接続されていない資産が含まれます。オフラインにおいて仮想的に表示されるだけです。

「ThingWorx Analytics」は、モノのインターネットのための機械学習機能及び他の分析サービスを可能にします。ThingWorx Analyticsは、ThingWorx SCP Platform Professional 及び Enterprise Editions とのみ連携して使用することが許諾されます。ThingWorx Analyticsは、コア毎にライセンスされます。

上表に示される分析計算機能を実行するあらゆるインストール済みのコンポーネントには、各物理的又は仮想のCPUコア毎にThingWorx Analyticsのコア毎のライセンスが必要です。お客様がThingWorx Analyticsの付属のコアの計算能力を超えた場合、お客様は、計算機能を提供するインスタンスにより実行するコンポーネントの追加の計算容量のための追加のコアライセンスを購入することができます。

コンフィグレーション

お客様は、オフラインのOS又はサーバーレベルのアクセスはできません。すべてコンフィグレーション及びカスタマイズは、ThingWorxの公式コンフィグレーション及びカスタマイズオプション(Composer、ロードエクステンション、Solution Central)を介して実現する必要があります。

データ及びデバイス

データストレージの権利

お客様には、サブスクリプションを購入した ThingWorx のエディションに基づいて、本項で詳述するさまざまなレベルのストレージの使用権が付与されます。また、1 GB 単位で追加ストレージを購入できます。お客様が使用権を付与されるストレージは全量が ThingWorx 本番環境用であり、ThingWorx ファイルシステム及び ThingWorx データベースの両方（別途規定のない限り、すべての ThingWorx コンポーネントが含まれます）に存在するお客様のすべてのデータのストレージ総量によって決まります。使用権が付属している ThingWorx 統合環境の場合、100 GB の基本ストレージが提供されます。

以下の表に、すべてのストレージ使用権の詳細を示します。

ThingWorx のエディション	基本ストレージ	追加のストレージ使用権
ThingWorx SCP Premium SaaS	100GB	追加購入の IoT Asset あたり 0.1 GB 追加購入の NB-IoT Asset あたり 0.0045 GB
ThingWorx SCP Professional SaaS	100GB	追加購入の IoT Asset あたり 0.1 GB 追加購入の NB-IoT Asset あたり 0.0045 GB
ThingWorx SCP Enterprise SaaS	100GB	追加購入の IoT Asset あたり 0.1 GB 追加購入の NB-IoT Asset あたり 0.0045 GB
ThingWorx Machine Builder Bundles (all)	100GB	追加購入の IoT Asset あたり 0.1 GB 追加購入の NB-IoT Asset あたり 0.0045 GB
ThingWorx の非本番環境	100GB	なし

例：

ThingWorx SCP Enterprise SaaS 及び追加のノーマルアセットを 100 購入した場合：

本番環境におけるお客様の使用権： $100 \text{ GB} + (100 \times 0.1) = 110 \text{ GB}$ のストレージ総容量

ThingWorx SCO Solutions SaaS Platform Service

はじめに

ThingWorx SCO モデルでは、お客様の製品の製造に関連した、お客様の社内の生産システムプロセス及びオペレーションなどに接続して、それをモニタリングするための IoT Platform が使用許諾されます。SCO ソリューションにはいくつかのモデルがあり、Site 単位で販売され、さらに SCO 登録ユーザーも含まれます。各モデルには「ThingWorx エージェント」又は「Edge Microservers」及びアプリケーションへの接続を追加するためにお客様が使用する ThingWorx SDK が含まれます。

SCO Solutions モデル

SCO Solutions モデルに適用可能な定義

- 「Custom Application」（カスタムアプリケーション）は、(i) PTC が提供する標準アプリケーションのカスタマイズ、又は (ii) PTC によって作成されないソフトウェアアプリケーションであり、お客様のニーズと要件に対応しながらエンドユーザー向けにビジネスの使用事例として構築されたものをいいます。Custom Application は、ThingWorx プラットフォーム技術を使用して開発され、バックエンドコンポーネント、サービス、及びマッシュアップの組み合わせにより構成されます。
- 「SCO 登録ユーザー」とは、ThingWorx Platform に直接アクセスするか、又は PTC、お客様、又はパートナーがプラットフォーム上で開発した中間アプリケーションを経由してアクセスする人をいいます。ThingWorx Platform 又は中間アプリケーションを表示又はアクセスするすべてのユーザーは、ログイン ID が一意のユーザーに関連付けられているか、アクセスするデバイスに対して汎用的であるかに拘わらず、登録ユーザーライセンスが必要となります。Standard 及び Premium の SCO 登録ユーザーは、購入した Site ごとに 1 つのみ ThingWorx アプリケーションにアクセスできます。各 Site の追加アプリケーションごとに、追加のユーザーライセンスが必要になります。
- 「SCO Solutions Enterprise User」は、Site ごとに SCO Solutions Enterprise バンドルを購入した場合、複数のアプリケーションにアクセスできるように SCO 登録ユーザーを拡張します。
- 「SCO Connected User」とは、SCO アプリケーション内の作業指示書及び関連データ（文書又は図面）を閲覧する目的で Windchill に対してビューのみのアクセス権を持つ登録ユーザーをいいます。このライセンスは、Windchill の一般的なビューアクセスや ThingWorx Navigate View アプリのインストール及び使用権限をユーザーに付与するものではありません。
- 「Site（サイト）」とは、ソフトウェアが使用される単一の顧客の建物又は接続された一連の建物を意味します。接続された建物の場合、業務自体又は材料のプロセスフローの間に物理的な障壁がないことが必要です。

SCO Solution Standard Model (SCO ソリューションスタンダードモデル) - SCO Solution Standard Model では、お客様は、PTC が提供するサービスアプリケーションに関連してのみ ThingWorx を使用でき、制限されることなく、お客様が Custom Application を開発したりすることはできません。お客様は、SCO Solution Standard Model のこれらの out-of-the-box（既存）アプリケーション（ソリューション）で提供されるマッシュアップを編集することができますが、（直接又は既存のマッシュアップを過度に編集することによって）新しいマッシュアップを作成することは禁止されています。お客様は、SCO Solutions Standard Model のアプリケーションを他のシステムと統合することができますが、読み取り専用の目的に限ります。PTC の SCO Solutions Standard Model の使用許諾基準は、アプリケーションが展開される Site ごとの料金が必要になります。さらに、特有の各アプリケーションにつき権利のあるユーザー数を超える場合には、各 SCO 登録ユーザーに対して料金が必要です。SCO Solutions Standard Model には、以下の表に示す機能／権利が付属されています。

SCO Solutions Premium Model - PTC の SCO Solutions Premium Model では、ThingWorx プラットフォームを使用してカスタムアプリケーションを作成し、Standard Model アプリケーションを拡張又はカスタマイズすることができます。Standard Model アプリケーションは、各 Site がプレミアムモデルを購入するための前提条件となります。PTC の SCO Solutions Premium Model のライセンスは、Custom Application を展開する Site ごとに料金が発生します。SCO Solutions Premium Model のユーザーは、Standard Model に加えて、2 つの別のアプリケーションとして購入する必要があります。SCO Solutions Premium Model には、以下の表に示す機能／権利が付属しています。

SCO Solutions Enterprise Model (ソリューションエンタープライズモデル) - PTC の SCO Solutions Enterprise Model では、お客様は購入時に利用可能なすべての ThingWorx 標準アプリケーション（すなわち DPM、AMU、CWC、RTPPM）に特定の Site でアクセスし、ThingWorx を使用して SCO 目的の Custom Application をその Site において開発することができます。PTC の SCO Solutions Enterprise Model のライセンスは、アプリケーションを展開する Site ごとに料金が発生します。SCO Solutions Enterprise Model のユ

ユーザーは、Site の Custom Application を含むすべてのアプリケーションにアクセスすることができます。複数の Site を購入する場合、ユーザーはどの Site にも割り当てることができます。SCO Solutions Enterprise Model には、以下の表に示す機能／権利が付属しています。

SCO Solutions Custom Enterprise Model - PTC の SCO Solutions Custom Enterprise Model は、お客様が ThingWorx を使用して、当該 Site において SCO 目的の Custom Application を開発することを許可します。SCO Solutions Custom Enterprise Model には、PTC Standard Model アプリケーションへのアクセスは含まれません。PTC の SCO Solutions Custom Enterprise Model の使用許諾基準は、アプリケーションを展開する Site ごとに料金を支払うものです。SCO Solutions Custom Enterprise Model のユーザーは、Site 内のすべての Custom Application にアクセスすることができます。複数の Site を購入する場合は、どの Site にもユーザーを割り当てることができます。SCO Solutions Custom Enterprise Model には、以下の表で指定された権利が付属しています。

ソリューションのスコープ

ThingWorx SCO ソリューションの SaaS サービスには、以下のものが含まれます。

- お客様が購入するコンフィグレーションごとに、以下で規定される数のユーザー
- SCO の定義されたユースケース内で、Kepware 又はその他のサポートされるエッジエージェント技術を介したアセットへの接続性
- 単一の専用本番インスタンス
- 下表で規定されるストレージ割り当て

オフファリングに関する基本事項

- ThingWorx SCO Solutions モデルは、登録ユーザーに基づくモデルを使用して、お客様の製品の製造に関連するお客様の内部製造システム、製造プロセス、及び／又は製造作業に接続しモニタリングするために、IoT プラットフォーム及びソリューションのライセンスを取得することを可能にします。
- お客様は、遠隔 Asset のすべてのコンフィグレーション及びメンテナンスに責任を負います。PTC は、エッジ上のいかなるデバイスについてもサポートを提供しません。
- お客様は、接続されるすべてのアセットについて、少なくとも TLS 1.2 に相当する SSL セキュリティレベルで通信する状態を維持しなければなりません。
 - アセットが規定のレベルに達していない場合、資産をサービスに接続するには、お客様が書面によって PTC の承諾を得る必要があります。
 - PTC は、セキュリティレベルの最小要件を満たしていない通信を切断又はブロックする権利を留保します。
 - PTC は、アセットが接続する可能性のある最小セキュリティ SSL TLS レベルを上げる権利を留保します。
- サービスに含まれる以下の事項については、お客様が許容量を超えた場合、見積書／製品スケジュールで規定される超過料金をお支払いいただきます。
 - 登録ユーザー
 - データ／ストレージ

Legacy SCO SaaS のライセンスプロファイル及び許容されるコンフィグレーション

ライセンスプロファイル

ThingWorx SCO Solutions SaaS オフリングは、以下のコンフィグレーションで特定される登録ユーザー及び／又はユーザー単位で、以下のソリューションの使用権が付与されます。

コンフィグレーション

	SCO Standard (DPM, AMU, CWC, RTPPM)	SCO Solutions Premium Edition	SCO Solutions Enterprise Edition	SCO Solutions Custom Enterprise Edition
前提条件	N/A	SCO スタンダード (1Site につき 1 アプリ 以上)	N/A	
SCO 登録ユーザー (1)	アプリケーションごとに 25、そのアプリケーションにのみ使用	5 (管理目的にのみ使用し、Custom Application にアクセスすることはできません。)	Site あたり 100	Site あたり 100
Custom Application 同梱	0	Custom Application は無制限に作成可能	Custom Application は無制限に作成可能	
ThingWorx Foundation	各エディションに同梱			
ThingWorx Analytics	N/A	同梱 (32 コア)		
ThingWorx Apps (DPM, AMU, CWC, RTPPM)	購入したアプリ 1 つにつき 1 アクセス (1Site につき 1 アクセス)	N/A	All apps 同梱	別途購入要
ThingWorx Building Blocks	アプリの要求に応じて	同梱		
ThingWorx Kepware Server (2)	一部の ThingWorx SCO ソリューションには Kepware の権利が含まれます。下記の注記 2 を参照。			
ThingWorx Software Content Management	N/A	別途購入要		
ThingWorx Production Environment (3)	1			
ThingWorx Active-Active Clustering	別途購入要			
Technical Support	Gold+			

1. 追加の登録ユーザーをアラカルトで購入することができます。
2. Kepware を含む ThingWorx SCO bundle の場合、上記のすべての SCO ソリューションモデルに含まれる Kepware の使用権は、ThingWorx SCO ソリューションでの使用に限定されます。SCO ソリューションモデルに含まれる Kepware ソフトウェアは、単体では使用できません。お客様は、他の用途のために Enterprise Kepware 接続パッケージを購入することができます。
3. SCO ソリューションの提供する本番環境は、購入 Site 数にかかわらず 1 つだけ含まれます。本番環境はアラカルトで追加購入できます。

追加ユーザー – SCO Solutions Standard 及び Premium

SCO Solutions Enterprise 及び Custom Enterprise の追加ユーザーは、Site 及びアプリごとに購入が必要です。

例:

Site 「A」では、DPM1 台、CWC1 台、Custom Application をいくつも導入しており、各 PTC アプリケーションには 25 人の権利ユーザーがいます。この Site には、すべてのソリューションにアクセスできる 30 人の作業員が必要です。お客様は、この Site のために、DPM 用に 5 人、CWC 用に 5 人、カスタムアプリケーション用に 30 人の合計 40 人の追加ユーザーを購入する必要があります。

追加ユーザー – SCO Solutions Enterprise 及び Custom Enterprise

SCO Solutions Enterprise 及び Custom Enterprise の追加ユーザーは、Site ごとに購入が必要です。Enterprise のユーザーは、その特定の Site のすべてのカスタムユースケース及びソリューションにアクセスできます。

例:

Site 「B」には、複数のカスタムユースケースで構成される Enterprise のオフリングが展開されています。このオフリングには、かかる Site B で 100 人の Enterprise ユーザーの使用権があります。お客様はさらに 10 人のエンタープライズユーザーを購入し、Site B に展開されたすべてのユースケースにアクセスできる合計が 110 人のユーザーになります。

追加インスタンス – 本番

追加の本番インスタンスを単体で購入して、複数の製造 Site 又は地域をサポートするために使用できます。これらのインスタンスに追加の登録ユーザーは含まれず、標準の使用権で規定されている上記の使用権が付与されます。これにより、お客様は、本番インスタンスの使用権が付与され、PTC サービスレベル契約 (SLA)、サービスレベル目標 (SLT)、及び一般契約条件に記載のその他の条件が適用されます。お客様は、単一の本番インスタンスに登録ユーザーを割り当てることができます。追加の本番インスタンスの規模は、その特定のインスタンスに割り当てられるユーザーの数に基づいて決定されます。

追加インスタンス – 非本番

追加の非本番（開発、品質保証及び統合）インスタンスは、別途購入できます。これらのインスタンスでは、Asset 又は登録ユーザーの数に制限はありませんが、見積書／製品スケジュールで規定されるシステムサイジングの制限が課されず、ストレージは追加で購入できます。

追加のデータベース

これは、お客様が別途購入することで本番及び非本番のデータベースの使用件が付与されます。お客様は、テストと妥当性確認のための非本番及び本番インスタンスを確保するために、それぞれ少なくとも1つのデータベースを購入する必要があります。サイジング（CPU コアによって定義）及びストレージは、見積書／製品スケジュールで規定されます。構成されたデータベースは、一般契約条件に規定された条件に基づくものとし、本番用の個別の SLA はありません。お客様の実装において、お客様のシステムのパフォーマンスに悪影響を与える異例の使用方法は、追加料金がかかる場合があります。

ThingWorx High Availability

ThingWorx High Availability は、互換性のある SCO Solutions 環境へのアドオンとして利用できます。お客様の本番システムを、ThingWorx 9.0 以降のバージョンに実装されているアクティブ／アクティブ構成のクラスタを使用するように設定することが可能になります。見積書／製品スケジュールで別途規定のない限り、SLA はこの使用権によって変更されません。

データ及びデバイス

データストレージの権利

お客様には、サブスクリプションを購入した ThingWorx のエディションに基づいて、本項で詳述するさまざまなレベルのストレージの使用権が付与されます。また、1 GB 単位で追加ストレージを購入できます。お客様が使用権を付与されるストレージは全量が ThingWorx 本番環境用であり、ThingWorx ファイルシステム及び ThingWorx データベースの両方（別途規定のない限り、すべての ThingWorx コンポーネントが含まれます。）に存在するお客様のすべてのデータのストレージ総量によって決まります。

以下の表に、ストレージの使用権の詳細を示します。

ThingWorx のエディション	基本ストレージ	追加のストレージ使用権
ThingWorx SCO Solutions Standard	325GB	アプリごとに 100GB
ThingWorx SCO Solutions Premium	325GB	なし
ThingWorx SCO Solutions Enterprise	1325GB	Site ごとに 100GB
ThingWorx SCO Solutions Custom Enterprise	1325GB	Site ごとに 100GB
ThingWorx Non-Production Environment	100GB	なし